

お知らせ

愛媛県立中央病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・組織など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・組織など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

膵管内乳頭状粘液性腫瘍（IPMN）の術前検査結果および術後病理結果の関連性に関する後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 小川 晃平（肝胆膵・乳腺外科 准教授）

【研究の目的】

過去に受診され、手術を施行した IPMN 患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、術前検査結果と病理組織結果の関連性や予後などについて評価する研究を行うことといたしました。この研究は IPMN における有効な検査および予後の推定の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2009 年 7 月から 2019 年 6 月に当院を受診された方のうち IPMN と診断され、手術を施行した患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料） 通常の診療で使用した後に残った試料（血液・組織など）

【共同研究について】

この研究は、愛媛大学医学部附属病院、市立宇和島病院と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化し、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって市立宇和島病院に送られます。データ解析は市立

宇和島病院で行います。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

市立宇和島病院 外科 氏名：宇都宮 健

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛県立中央病院 消化器外科 大谷広美
790-0024 愛媛県松山市春日町 83 番地
Tel: 089-947-1111